



たすけ合いの心を倍に

赤十字は戦時・平時を問
人類の平年と福祉に奉仕す
▽期日 昭和三十九年十一月三日

さるべく国際的にもって、どこを結び、いつでも、世に人間のお互いに備え援の手をさすのべており、これ日赤の事業はすべて社員組によって推されており、日赤は分担任民の善意と自発

△主催 栗東町社会福祉会

△会場 栗東町公民館

△参加者 日赤社員、委員、町内協力役員、共済協賛会委員、日赤赤

△午後 11時

百周年記念運動を迎え、「全国的な協力を基に」たすけあひつたり、今年その第二年度のふしあわせをなくし、明るい地域社会を築きあげようとするものであります。大会の要旨は次のとおりとなっております。

▽後援 栗原町、鹿角県社会委員会、鹿角県民生委員協議会、各関係団体
▽協賛 秋田県社会福祉

また若いときも誰もが
になっております。

成田喜八

「一本」は、生活に切つての日常の生活に切つても切れないものであることは、いうまでもないことである。この水の根元は広々地下下に流通して地下水であることも自明のとおりであり、なまをわすれず金類に外ならないのであり、また「共同募金」の運動も要する社会福祉の民生安定のための地下水の善養のため、日常の必要としてよく用ゐることに充てられておきたいといふ金額に外ならないのである。

「地下水」のようばめだなくとも苦勞の多い仕事ではあるけれども、社会生活をさへるといふと大事なことの連動発展をこころから折

大会日程
開会
挨拶 大会会長
祝辞 秋田県知事
挨拶 秋田県社会福祉協
義会、日赤秋田県

支部、秋田県共同
募金会
14時10分
表彰及び体験発表
15時
感謝アトラクション

ほとんどが福祉事業に

共同募金運動は、社会人としての連帯責任を分担しみんなの善意と自発的な協力を盛り上げることを念願としなが国民たすけあい

◇罪を犯した人たちが悪の道におちこ入らぬ導くための更生保護事業

◇生活に困っている人を救済するための生活

わせのための児童福祉
 ◇災害などにあつて

六万八千七百十円に對し、急遽護身資金を以て六万二千九百五十円に減額し、二十九萬五千元の治療費にあつては、優秀な成績を挙げ、優秀な卒業生に對する奨励金として、一萬圓の額を贈與する事とした。○からだの不自由の偏重の爲に、學生の健康の爲め、有害の習性、事業を禁ずる事とした。○からだのお札を申しげますに於て

あなたは、国民年

「七月は国民年金保険料第一期分の納期限です」六月分までの保険料をまだ納めていない方は必ず今月中に完納して下さい。

の社会福祉組織の実が、次のようなこと

「の積極的な推進をは
め「鷹巣町社会福祉
」ができています
知のことと思います
町長を会長
協会は町内に住む
が会員になって
万が一、季節保
援護七、子ども
成援護六、老人
意銀行五、老人
六、資金貸付
世帯更生資金貸付
一、心配ごと相談

名和福祉団体の財
これらの事業を主

国民年金は、老令年
のなか、思いがけな
うな思いがけな
にあった時、も

	長	一名
	長	二名
	員	七名
	事	一五名
	二名	

をとおこなっています

共同募金よりの配
入の部

つくってっており
九年度の予算は次
となっております

補助金三〇〇〇万
円補助金一〇〇〇万

福祉相談所事業費

大火の援助に感謝して

[illegible]

紙によって推進
がまわっております

町民各位のご理解と一

日赤は昨年一〇月期に「総力をかねていいたし」念を遣え、全戸社員加へました。今年はその第二年度を迎えますが、果敢と分区分区は現況懸念の約三、三六〇の割に世帯數五、三四〇の世帯があたることを要するといふのであります。

です。生活困難で保険料を納めることが容易な赤い四角

面整理、暗渠排水、
開畑、客土、農道、

かんかい排水等事業を実施
し、事業の進行に必要と
する資金を、年利三分
五厘、償還期限五年以内
という長期で低利な資金を
融通しております。

この資金を借入ご希望の
方は農林事務所土地改良課
野林課又は最寄りの信連
秋田、羽後、青森銀行へご
相談下さい。

(秋田県耕地面課)

